

マーケットの動き（2020年8月10日～8月14日）

為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

主要通貨の対米ドルに対する全体的な値動きは、米ドル安が継続しました。リスク資産の上昇により、連動性の高い北欧通貨や資源国通貨が対米ドルにおいて特に上昇しました。また、米ドルは対円で上昇（円安）しており典型的なリスクオン相場となりました。

ユーロは、対円・対ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2020年8月）

米ドル：米中対立に対する懸念から、下げが意識されやすい

米ドル：米国では、新型コロナウイルスの感染急拡大に対する警戒感が広がっています。日米ともに短期金利の低下余地が限られる中、当面はFRBの資産拡大に加えて米中対立の激化に対する懸念から、米ドル安が意識される展開になるとみています。

ユーロ：財政基盤強化によって信頼高まる

ユーロ：実体経済の緩やかな回復がみられる中、EUによる復興基金創設が合意に達したことを受けて、ユーロに対する信頼は財政基盤強化によって高まると考えられます。当面はユーロ高が意識されるとみています。

	8月14日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	106.46	0.57	▲0.80	▲3.31	0.65
ユーロ/円	125.93	1.10	3.68	6.89	7.95

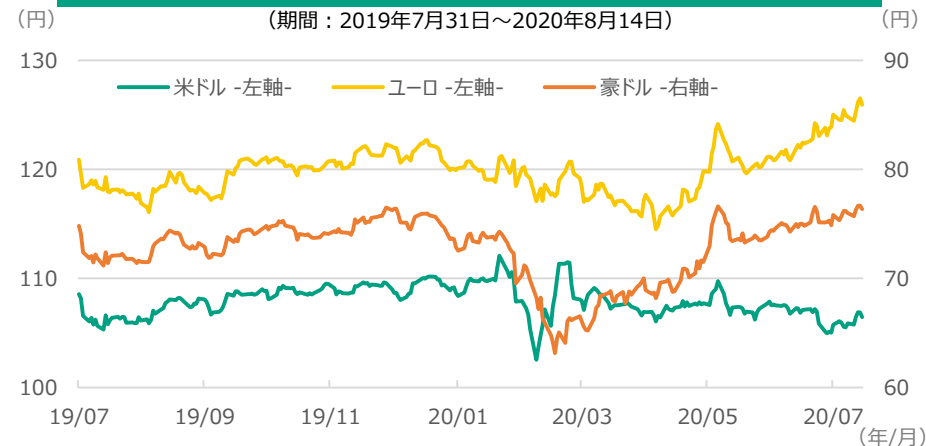
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

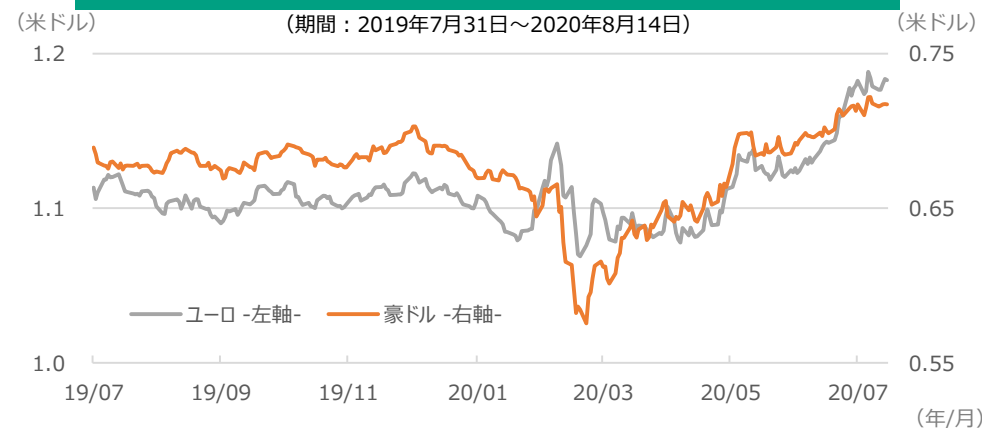
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202008_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成